

# XDR管理対象クライアントのセキュアアクセスでマシントンネルXMLファイルが消失する

## 内容

---

---

## お問い合わせ内容

Cisco Secure Access(Secure Client Remote Access VPN)で使用するマシントンネルXMLコンフィギュレーションファイルが予期せず消失するため、マシントンネルが接続できません。

## 環境

- Cisco Secure Access – セキュアクライアントリモートアクセス (VPN、ポスチャ、プライベートリソース)
- 導入テンプレート : XDRの導入パッケージ
- Cloud ManagementおよびZero Trust Access(ZTA)コンポーネントが存在する
- XDR展開パッケージによって管理されるクライアントマシン
- 設定され、動作可能なマシントンネル

## 解決策

この問題は、導入パッケージ内にマシントンネルXML構成を直接埋め込むことで解決され、クラウド管理の強制ポリシーによる削除から保護されました。

### 手順1 : 展開パッケージ構成の変更

マシントンネルのXML設定は、JAY-TEST展開パッケージに直接埋め込まれました。このアプロ

一斉では、クラウド管理の強制ポリシーによる削除からXMLファイルを保護します。

次に、展開パッケージの変更手順を示します。

1 – コンピューターに割り当てられている展開パッケージを特定します。

2 – 展開パッケージを編集します。

3 – VPN管理トンネルプロファイルを作成またはアップロードします。

4 – マシントンネルVPN XMLファイルをアップロードします。

5 – マシントンネルプロファイルを割り当てます。

6 – 設定を保存します。

7 – クライアントマシンにパッケージを展開します。

## 手順2：変更された設定をテストする

組み込みXMLアプローチを実装した後、テストによって、VPN認証ウィンドウを閉じて再度開いた後にマシントンネルXMLが表示されなくなったことが確認されました。設定は永続的で安定しています。

## ステップ3：解決策の確認

実装後のテストでは、認証ウィンドウの操作に関係なく、マシントンネルが接続と設定の持続性の両方を維持しながら、通常の動作が復元されたことが検証されました。

## 原因

根本原因は、クラウド管理構成の強制ポリシーとマシントンネルXMLファイルのストレージメカニズムの間の競合として特定されました。定期的なXDRパッケージの更新中に、マシントンネルXMLファイルが展開パッケージに割り当てられていないため、このファイルが削除されました。

## 関連コンテンツ

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。